



絆

KIZUNA

YAMAMOTO INDUSTRIES Co., Ltd.
Company Newsletter

山本産業(株)社内報

きずな

2016.9.1
vol.05

to the next stage.

いざ、次のステージへ

ハッピーミユ作業場



よさこいクラブ『絆～YMSG～』



アルテリーヴォ和歌山



いざ、次のステージへ!!

『愛と思いやりに満ちあふれた 世界一しあわせな会社』を目指して

山本産業では会社ビジョンとして『愛と思いやりに満ちあふれた世界一しあわせな会社』を掲げ、事業活動を行っておりま

す。前回の社内報では、各ビジョンを語る会で、リーダーの皆さんが描いた絵を掲載させていただきました。今回は、トップリーダーの8人にお集まりいただき、座談会を開催し、描いた絵の実現に向けての取り組みや心がけていること、また、目標管理の重要性について語り合っていました。

製造第一課 池本課長補佐

私は、『絆』をキーワードに、みんなどこかで繋がっているという姿を描きました。

目標を達成するためには、みんなが、どこかで助け合っているかなければならないと思っています。みんなが同じ方向に進んでいけば、大きな力になります。そのためには、メンバーひとりひとりと関わりを持てる組織を作らなければなりません。自分たち

と同じ思いで、メンバーに対して話をしてもらえような、核になる人財を現場の中で育てていく必要があります。

まず、自分がすべてにおいて変わらないといけない。嫌なことから目を背けているようでは出来ない。苦手なことにもどんどん関わっていくようにして、みんなと意見を共有できるように進めていきます。



製造第一課 池本課長補佐

製造第二課 富田課長補佐

私の絵は『笑顔』がキーワードです。

私がやらねばならないことは、業務を通じてメンバーに幸せを感じてもらうことです。こちらからメンバーの所に足

を運び、話をよく聴き、何か問題があれば、そこまで一緒に行く、そういう風に連帯感を持つことが大事だと思います。メンバーと一緒に動いて、一緒に観

て、一緒に考えることで、互いに思いが共有でき、目標を達成させる強い推進力になるのだと思っています。

今までの自分を改め、努力をしていきます。



製造第二課 富田課長補佐

管理部 末田課長

私は、『愛と思いやりに満ちあふれた世界一しあわせな会社』になれば、自然と職場に笑顔が溢れてくると思う、みんなが笑って手を繋いでいる姿を描きました。

メンバーは、それぞれ目標を持って仕事をしています。悩んでいるメンバーもいます。みんなを笑顔にするためには、自分はどうしたら良いかを考えました。みんなが何を悩んでいるのか、どんなことで困っているのか、その話をよく聴き、一緒に考え、問題を一緒に解決していくことに取り組んでいます。



管理部 末田課長

製造第二課 堀口課長

私のキーワードは『笑顔と豊かさ』です。笑顔で出社し、笑顔で帰宅する。その繰り返しの中から豊かさを育むことが出来ると思っています。そのために何をすべきかを考えると、まずは職場でのメンバーの負担や、不満を減らしていくことだと思っています。

メンバーから話をよく聴き、現場との関りを深め、実際に困っていることや、悩んでいることなど問題点を集めます。そしてその問題点をひとりのリーダーに預けるのではなく、課全

体で共有し、みんなと一緒に考えて、解決策を見つけていく。そうすることで少しずつ職場の負担、不満を減らし、メンバーが笑顔で過ごせる職場を作りたいです。



製造第二課 堀口課長

製造第一課 井谷課長

人にはそれぞれ個性があります。私はそんなひとりひとりの『個性』を色に例え、様々な個性を持った人たちが集まりひとつになる様子を、虹に表現しました。

私の役割は会社の方針を理解し、メンバー達が同じ目標に向かって進めるように、先頭を切って旗を振ることです。メンバーの意見に耳を傾け、納得するまで話し合う中で、相手を良く知り、目標を達成するための過程では、ひとりひとりの良い部分を活かしながら進めていくことが重要だと考えます。

また、自分自身のスキルアップとして、『人を動かせる人材へ』ということをテーマに、社外

講師によるマネジメント研修や、書籍などでの自己研鑽で学んだ知識を活かし、課内の課題に取り組み、小さな改善を積み重ねていくことが、メンバーの幸に繋がると信じています。



製造第一課 井谷課長

製造第二課 山本分工場長

『愛と思いやりで満ちあふれた世界』しあわせな会社』に向けて一番大事なのは、やはり笑顔だと思い、みんなの笑顔の絵を描きました。

しかし仕事は決して楽なものではありません。

そういった中でも笑顔が職場、そして会社にあふれるように、私がするべきことは、まずは現場で働いているメンバーが何に困っているか、それに対して話を聴き、ひとつずつ原因を取り除いていくことだと考えます。

現在の自分自身を振り返ると、行動に移しきれていない部分がありますが、まずは現場に行き、そこにいるメンバーの話に耳を傾けていきます。そして、そ

の問題点を分工場内で共有し、小さくてもみんなで解決にむけて動くことで、まずは分工場からビジョンに一番近い職場を目指していきます。



製造第二課 山本分工場長

安全グループ 朝倉課長

安全はトップの考え方で変わると言われています。

まず従業員第一ということに軸足を置き、高い安全意識を保つため、部門長や課長達と、とことん話し合い、安全で快適な職場作りに取り組んでいます。

もうひとつは、事務所の雰囲気をもっと明るく、親しみやすいものにしていきたいと思っています。従業員が訪ねて来やすい、風通しの良い事務所を目指しています。



安全グループ 朝倉課長

生産部門 森口部門長

私の描いた絵をひと言で表すと、しんどいけれどみんなで助け合って頂上を目指そう、というものです。

仕事は毎日しんどいけれど、何か目標を持って、それを達成し、そこで何かを得て、みんなが喜びを感じられるような、そんな会社にしていきたいという思いで、活動しています。

まず現場へ行って、リーダーをはじめ作業者の人と話をする機会を増やしました。自ら現場へ行って、自分の目で現場を知ろうとしています。

それからもう一つは、問題点のその中を知るように心掛けています。ただ、それについてどうなったか結果を問うだけではなく、一緒に中に入って、なぜうまくいかないのかを話し合う事に心がけています。

従業員の為に何が出来るか考えていくことが、現場のメンバーの働きがいというものに繋がっていくと思います。



生産部門 森口部門長

代表取締役 大東社長

私が社長就任時に、『請負事業の自立への体質強化と働きがいある会社』というビジョンを掲げました。今から6年前になります。

経営方針は従業員第一であり、現場主義マネジメント、働きがいマネジメントでの運営です。そのビジョンも今では『愛』と思いやりで満ちあふれた世界しあわせな会社』へ発展しています。家族愛のある会社づくりです。

例えば、課長の自分がいて、現場のリーダーがいて、そしてメンバーがいる。メンバーは当然自分の家族です。

リーダーはメンバーを預かっているという自覚をもっていたきたいのです。

メンバーが困っていれば、リーダーがフォローをする。仕事だけではなく、リーダーは真心もってメンバーに関わっていたきたい。そこから真の信頼関係が生まれます。

あなた方からは、大きく変わろうとしている『気』を感じます。今までに比べ、これからは、成長カーブが大きく変わると思います。期待しています。今後の人材育成は、スキルだけでなく、いかに人物として成長しているか、心の部分の評価が大切になってきます。

リーダーはリーダーとして、メンバーはメンバーとして、山本産業で働くものすべて『愛』と思いやり』の心は共通です。

私はすべての従業員が、その思いに添っていきけるようにリードしているつもりです。

自分一人の力では成し得ません。個人、個人を組織の力で最大限に生かさなければなりません。

あなた方が部下をコーチングしながら育て、そしてその部下がまた次の部下を育てていく。人材育成を部下に任せきるのでなく部下がコーチングしているか見届けてもらいたい。

あなた方のマネジメント力の向上は、これからの山本産業の成長にとって、とても重要なものとなります。鋭意努力されることを期待致します。



代表取締役 大東社長



研修会は隔月で2日間行われています。
そのうち1日は、上長がメンターとして参加し、共に学んでいます。



PHP 研究所 戸辺 美由起 講師

研修生 8 名		
製造第一課	黒野	一
"	松下	典彦
"	吉田	卓真
製造第二課	上田	明德
"	岡	伸浩
"	瀬藤	博也
"	山本	純久
"	吉岡	嘉哉

PHP研修もいよいよ4期生に突入しました。
現在まで、総勢31名のリーダーが受講しています。
今回も難度を上げた課題にチャレンジしています。
悩み苦しみながらも、お互いに助け合い、日に日に成長していく姿を見守り、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年3月11日からスタート
平成29年3月4日修了式(リ・スタート) 予定

研修目的

会社ビジョンの実現に向け、部下・上司から信頼される『“心と技”の備わったほんまもののリーダー』になるために、必要なマインドやスキルを学ぶ。

研修実践テーマ

研修生が中心となり、周囲を巻き込み、組織運営のありたい姿を求め、運営強化策を提案し実行する。
『熱意・情熱・執念』プラス『素直さ』を持って取り組む。



1人1冊、組織運営について書かれている本を読み、それぞれが学んだ事を書き出し(アウトプット)、みんなで共有(インプット)することにより、短時間でより多くの学びを得ることが出来る学習方法

ステップアップ研修 I



社内初の試みとして、自社での研修会がスタートしました。
PHP戸辺講師ご協力のもと、管理部の萩原さんが社内講師として、PHP3期生研修で学んだことを活かし、取り組んでいます。

また、第一課：高城さん・上之原さん、第二課：堀口さん・大城さんがメンターとして研修生をサポートしてくれています。

若手社員から選抜されたメンバーと共に、実践を通して学び、より良い研修会になるよう、今後を期待しています。

研修目的

会社ビジョンである『愛と思いやりに満ちあふれた世界一しあわせな会社』を実現するために、自分としてどうあらねばならないかを考える。
実践を通して、仕事の進め方や必要なスキルなどを学ぶ。

研修実践テーマ

全員で一つのイベントを考え、企画し、実行させる。
・従業員のみなさんが楽しめる催し物を企画する
・周囲を巻き込んで進める

第1回 6月4日(土)
第2回 8月6日(土)
第3回 10月8日(土)



研修生 8 名		
製造第一課	川端	晃也
"	辻岡	秀仁
"	中尾	翔
"	松崎	竜也
製造第二課	後	和弥
"	岡崎	修次
"	小林	祐
"	金子	大晃

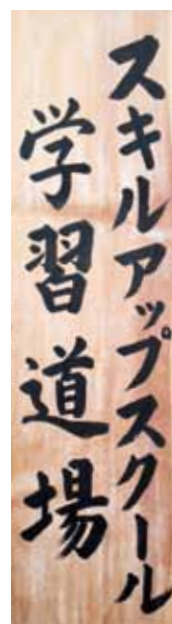


昨年11月に第2期が開講し、早いもので9ヶ月が経過しました。

残り3ヶ月となり、いよいよ最終段階に入っています。

2期生の学習ポイントは、機械要素の学習に加え、安全・品質・コスト面に注力した学習を行っています。

また、このような基礎学習に加え、研修生の自主性とチームワークを引き出せるよう、資料の作成や実験・製作実習などの課題には、できる限り研修生同士で相談しながら取り組めるようにしています。



■ハッピーミュ 作業改善活動

取り組み課題の一つに、今まで学習してきたことを活かせるよう、分工場のハッピーミュ作業場において、少しでも作業軽減に繋がるような改善に取り組んでもらいました。

研修で学んだ知識をフルに回転させて、電気回路を考えては製作し、うまくいかない時は、再び原点に戻り一からやり直す、といったことを何度も繰り返し、やつとの思いで完成させることができました。

このような改善活動や実験・実習で培った考え方や行動、研修生同士の意見交換、そして、課題を達成させようとあきらめず取り組んだ経験は、今後、自職場の改善活動や小集団活動に繋がっていくものと期待しています。



取り付け作業風景

ハッピーミュ製品パレット払出し表示器設置

作業場内でセットされた製品は、パレットに積み付けした後、室外(トラックバス)で作業しているリフト作業者に、大きな声で『取ってよおー!!』と声を掛け、取りに来てもらっていました。リフト作業者が近くにいない時は、何度も

何度も声を掛ける必要がありました。

そこで、室外に『**シグナル表示器**』と、作業場内に『**確認ランプ**』を設置し、リフト作業者とハッピーミュ作業者が、お互いに確認できるように改良しました。



YSSⅡ父兄会

3月17日に2クラス合同の父兄会を開催しました。

一部では、入校4ヶ月間の進捗報告と、研修生からは取り組み姿勢や心の変化を報告。

二部では、2016年の活動方針である「ほんまもののよきモノづくり」について、管理者・リーダー含め、3グループに分かれグループワークを行いました。

「ほんまものの安全とは」について、各グループ共に白熱した議論・意見が飛び交い、予定時間をオーバーするほど、本音での話し合いが出来たと感じました。

最後に各グループでまとめた内容を発表し、質疑応答や意見交換を交わすことで、「ほんまものの安全」について再認識すると共に、今後の活動方針についても像合わせすることができました。



地元を盛りあげる活動に、積極的に参加しています!

8/7(日) おどるんや夏

夏の目標

『砂の丸ステージで踊るんや!!』

チーム名【絆】のように、会社全体に少しずつ輪が広がり、みんなで笑ったり、話し合ったり、汗を流しながら踊り、絆を深め、ついに晴れの舞台に立つことが出来ました。秋には『子供さんもみんなで参加』が目標です!

よさこいクラブ

絆~YMSG~



『ヨッシャ来い!!』♪



☆秋まつりに一緒に参加してくれるメンバーを募集中です!

第一課：井谷
第二課：大城
分工場：山本
花王事務所：小波 まで

10/23(日) 和歌浦ベイマラソン with ジャズ

今年も走ります!山本マラソン部
10km 16名、ハーフ 2名
総勢18名が参加予定です。
沿道からの熱い声援をよろしく
お願いします!!



熊本地震災害義援金

平成28年4月14日に発生した
熊本県熊本地方を震源とする地
震により被災された方々を支援す
るため、義援金を受け付けました。
募金いただきました義援金総
額56,785円は、会社からの義援金
と共に日本赤十字社を通して被
災地へ届けられました。皆さまの温かい
ご支援をありがとうございました。



6/26(日) 水軒川クリーン大作戦



水軒川清掃は、毎年6月と12月
に近隣の自治体の皆さんと花王
さんが一緒に行っている環境保全
活動です。社内でも日頃から、川
沿いの道や駐車場内のゴミ拾い
にご協力頂いておりますが、今回
初めて、この水軒川クリーン大作
戦に参加させて頂きました。雨天
による急な日程変更にもかかわらず、
参加して下さいました皆様、ありが
とうございました。

※今回は編集部 3 名からのおススメを紹介します
みなさんからのおススメを募集中！詳しくは編集部まで



※作業内容は主に、試供品や旅行用ミニボトルのセット作業などを行っています。

ハッピーミュ作業場は、身体・精神にハンディを持っている障がい者の方々が、仕事を通じて自己の能力向上に取組み、社会的・経済的自立へのお手伝いをするを目的としています。

ここを一つのステップとして頑張り、次のステップへチャレンジして行くことを願っています。

現在、10名のメンバーが頑張ってくれています。

作業場名の由来



「ハッピーミュ」という作業場名は、分工場のみんで考えました。「幸・美・友」→美しい職場で、友達をつくり、幸せな日々を送って欲しいという想いが込められています。

朝礼当番を
決めて、
『守る事』を
唱和しています



休憩のひとときも
会社に来る
楽しみの1つです



指導員の熊倉 さん

時には厳しく、時には優しく指導してくれるメンバーに
とっては母のような存在です。



廣野 俊彦さん

(平成24年7月入社)

私は27歳のとき大病を患い、通常の勤務が困難になりました。入社前は、病気・就職・将来への不安を大きく抱えながらリハビリをする毎日でしたが、ここでは病気の事も理解していただき、相談に乗ってくれる上司や話をしてくれる同僚たちのおかげで、大きな不安が少しずつ小さくなりました。今では仕事にも慣れ、両親も大変喜んでくれています。

これからも健康管理に気を付け、メンバーに迷惑を掛けないようにし、皆さんへの「御恩」と「御縁」を忘れることなく、一日でも早くフルタイムで働ける日を目指して、メンバーと共に精進して行きます。

新入社員紹介

4月に入社してから
5ヶ月が経ちました。
これからもご指導
よろしくお願いします。



小林 雄哉さん



斉藤 佑騎さん



武内 利喜さん



田代 知也さん



田中 明輝さん



布居 政人さん



濱崎 将希さん

●従業員相談窓口のご案内●

<連絡方法>

- ★電話 073-445-6773(本社)
平日 8時15分～17時15分(水曜休み)
- ★メール kawamoto.ryuichi@yamamoto21.co.jp
- ★郵送 〒641-0012 和歌山市紀三井寺531-4
山本産業㈱ 河本宛



窓口担当の河本 龍一
(かわもと りゅういち)です
仕事や家庭の悩み事など、
何でもお気軽にご相談ください

管理部からのお知らせ

利用者のみなさんからのご要望にお応えて、日曜日の送迎バス運行を開始しました。

6/1 スタートに伴い、新しいバス運転手さんが入社されました。

とても気さくな方なので、気軽に声を掛けてください。

バス運転手紹介

わしやま まこと
鷲山 允さん

安全運転を心掛け、
事故の無いよう
がんばります。



編集後記

まだまだ暑い日が続きますが、皆さま体調など崩れていません。こまめな水分補給をお忘れなく、熱中症には十分にご注意ください。

さて、今号から、「自分の働いている職場以外のチームが、どんなことをしているのか興味がある」といった声にお応えて、【各職場チームの紹介】をスタートしました。

また、皆さまからの【おススメ】も、ジャンルを問わず募集しております。その他、掲載のご希望がございましたら、編集部までお気軽にお声掛けください。

最後となりますが、発行にご協力いただいた関係者各位に、深く御礼申し上げます。

編集局長 山本 純久

